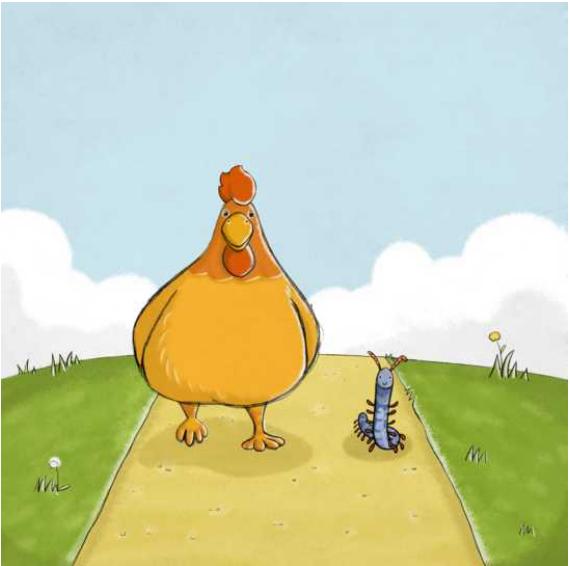


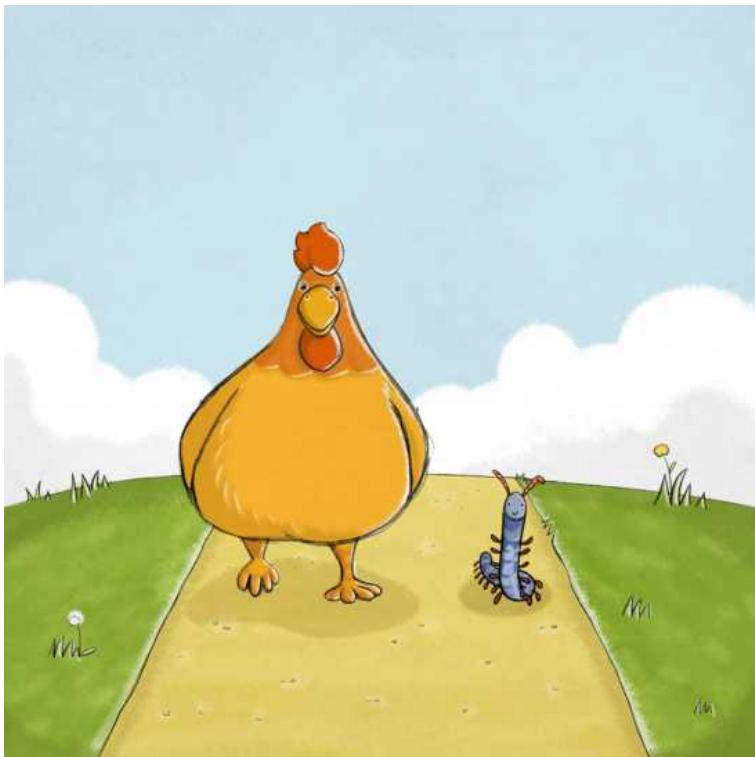
鶏とヤステ



✍ Winny Asara
✉ Magriet Brink
☎ Rion Nakamichi
💬 japanska
🔊 nivå 3

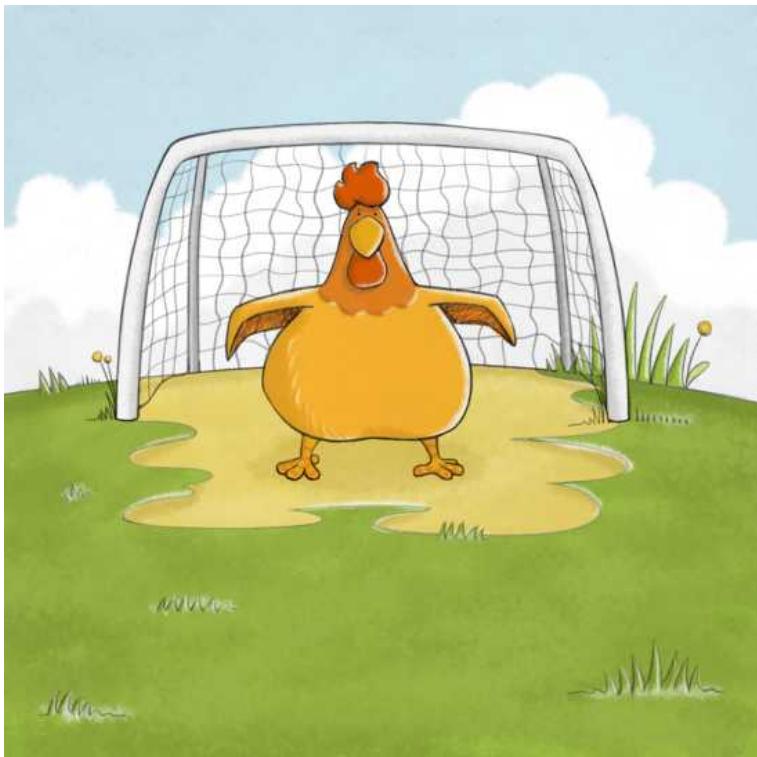


鶏とヤステは友達だった。しかし、彼らはいつもお互い競い合っていた。ある日、彼らはどちらが上手いか見るためにサッカーをすることに決めた。





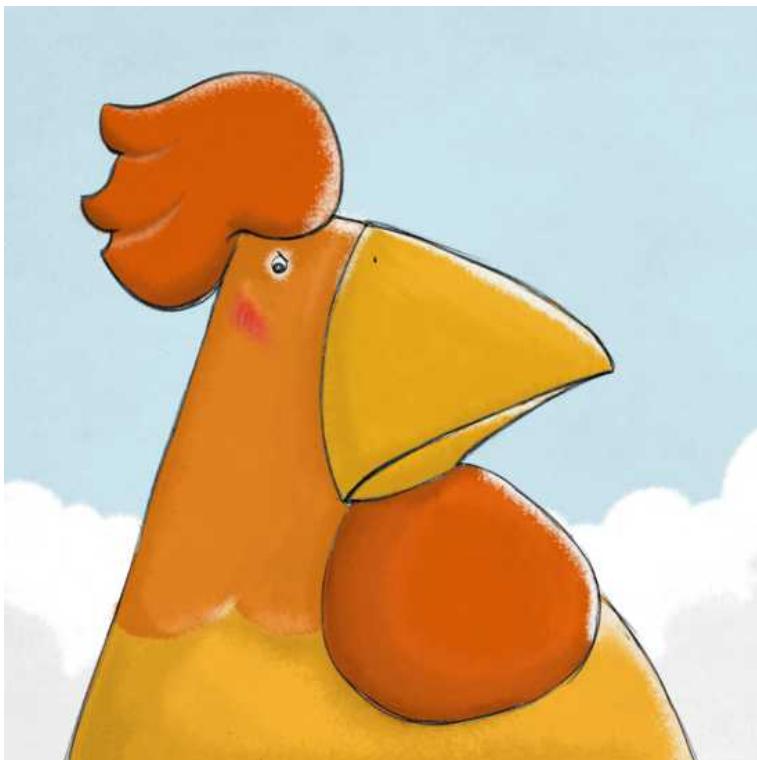
彼らはサッカー場へ行き、試合を始めた。鶏の足は速かったが、ヤステはもっと速かった。鶏は遠くに蹴ったが、ヤステはより遠くに蹴った。鶏は不機嫌になり始めた。



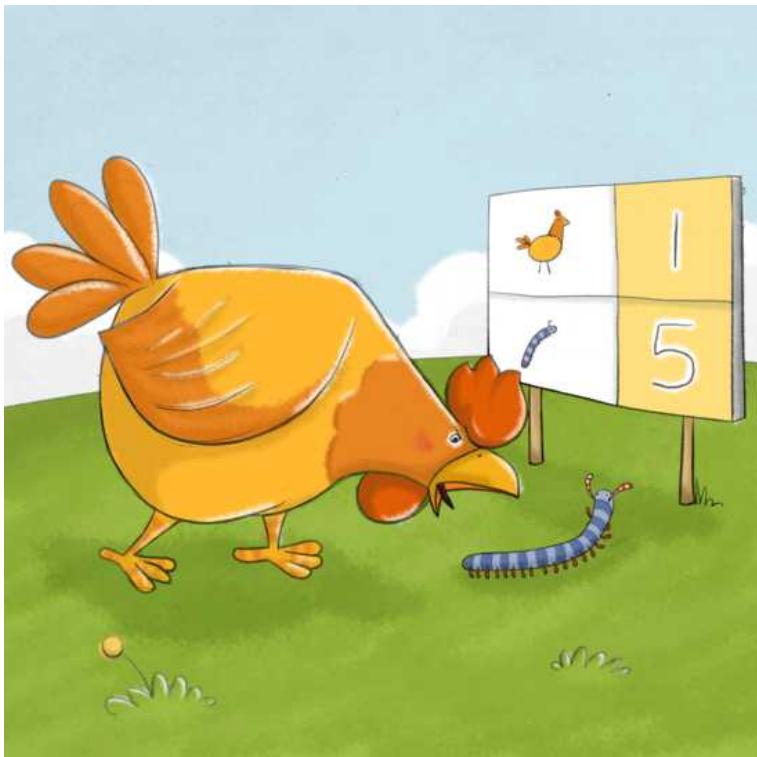
彼らはペナルティーキックをすることに決めた。初めにヤステがゴールキーパーをした。鶏はわずか1点を決めた。次は鶏がゴールを守る番に代わった。



ヤステはボールを蹴って点を決め、ドリブルをして点を決め、そして、ヘディングで点を決めた。ヤステは5点も決めた。



鶏は負けて怒り狂った。彼女はとても悪い敗北者である。友達が大騒ぎしたので、ヤステは笑い始めた。



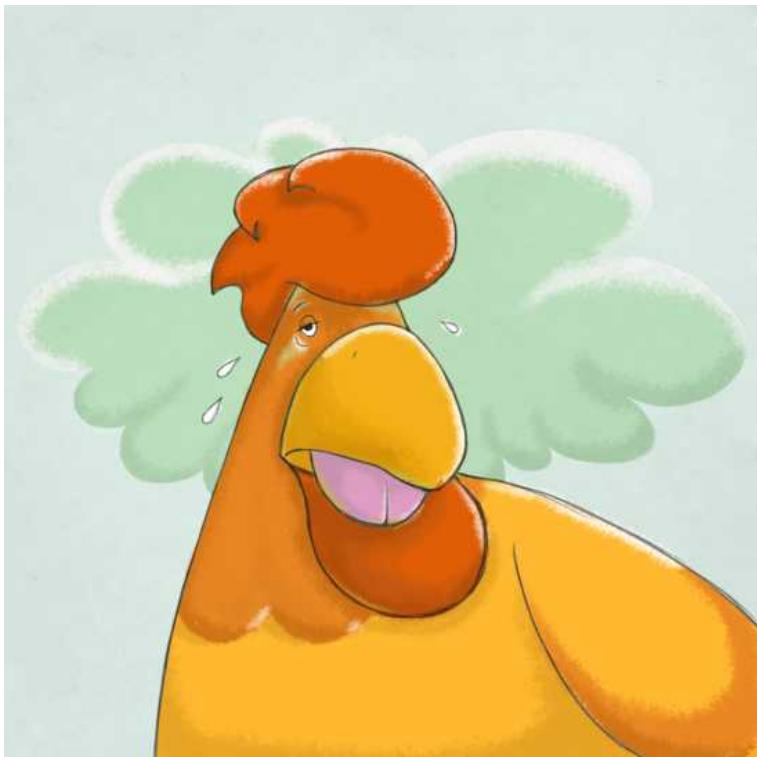
鶏はとても怒って、口を大きく開き、ヤステを飲み込んだ。



鶏が家に向かって歩いているとき、ヤステのお母さんに会った。ヤステのお母さんは「私の息子を見なかつたかい？」と尋ねた。鶏は何も言わなかった。ヤステのお母さんは心配した。



そのとき、ヤステのお母さんは「お母さん助けて！」という小さな泣いている声を聞いた。お母さんは周りを見渡し、注意深く聞いた。その声は鶏の身体の中からしていた。



ヤステのお母さんは「特別な力を使いなさい！」と叫んだ。ヤステはくさい臭いとひどい味を出すことができる。鶏は気持ち悪くなった。



鶏はゲップした。そのとき彼女は飲み込んだ。その後彼女は咳をした。さらに、咳をした。そして、ヤステが嫌いになった。



鶏はヤステがお腹から外に出るまで咳をした。ヤステとヤステのお母さんは隠れるために木の上まで這つた。



その時から鶏とヤスデは敵どうしなのである。



Sagor för barn på svenska

berattelser.se

鶏とヤステ

Skriven av: Winny Asara

Illustrerad av: Magriet Brink

Översatt av: Rion Nakamichi

Denna saga kommer från African Storybook (africanstorybook.org) och vidarebefordras av Sagor för barn på svenska (<https://berattelser.se/>), som erbjuder sagor på många språk som talas i Sverige.

Detta verk är licensierat under en Creative Commons
Erkännande 3.0 Internasjonal Lisens.